

TRUST SUPER TUNING SYSTEMS AIMED AT REAL COMPETITORS



*Electronic
Performance
Devices*
Take it easy!

Reddy Profec ELECTRONIC BOOST CONTROLLER

instruction manual
取扱説明書

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分理解された上で正しくお使いください。

TRUST

はじめに

この度は、GReddy Profec をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は GReddy Profec を初めてお使い頂く方はもちろん、すでに、お使いになられた経験をお持ちの方にも、知識や経験を再認識する上でお役に立つものと考えております。

この取扱説明書はよくお読みになり、内容を理解された上で実際にお使い下さいますようお願い申し上げます。

また、この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるように車内に保管される事をお勧め致します。

尚、本製品は競技専用部品です。公道では道路交通法等の法規に準じた走行が義務付けられます。

◆お客様と製品のかかわり合い◆ **必ずお読み下さい**

車とその取り扱い方法は、各自動車メーカーの、お客様に対しての安全と快適な生活に関する、不断の研究開発の結果として生み出されたものです。

弊社もまた、お客様に製品を安全にかつ快適にお使い頂くために、不断の努力をしておりますが、製品の持つ特性上、その性能や利便性と引き替えに、自動車メーカーの提供する安全が、確保できなくなる場合があります。

その様な場合に必要な、安全に対する配慮と判断は、すべてお客様ご自身の責任でお考え頂かなくてはなりません。

お客様の車と弊社の製品を、安全にかつ快適にお使い頂くためにも、製品を取り付ける車の取扱説明書を合わせて、よくお読みになり、十分に理解された上でお使い下さい。

もくじ

本製品について	はじめに／お客様と製品とのかかわり合い…… 必ずお読み下さい P1
	もくじ…………… P2
	安全・取り扱いに関するご注意…………… 必ずお読み下さい P3～6
	部品構成…………… P7
	本製品の特徴…………… P8
取り付け	各部の名称／取り付け前の注意…………… 必ずお読み下さい P9
	取り付け全体図(アクチュエータータイプ)…………… P10
	電源配線の接続方法／圧力センサーへの配管方法…………… P11
	バルブユニットの取り付け、配管(アクチュエータータイプ)・ P12,13
	過給圧制御用ソレノイドバルブ付車両の配管例…………… P14
	バルブユニットの取り付け、配管(ウエストゲートタイプ)…… P15
	本体の取り付け…………… P16
取り付け後の確認…………… 必ずお読み下さい P17	
基本操作	基本操作…………… P17,18
	操作早見表…………… P19,20
セットアップ	セットアップ…………… P21
	PATTERN…………… P22
	DIRECTION / BRIGHT…………… P23
	UNIT / ALARM…………… P24
	LAST BOOST…………… P25
	START TYPE…………… P26
	DATE LOCK…………… P27,28
ブースト設定	ブースト設定リスト…………… P29
	SET…………… P30
	GAIN…………… P31
	START BOOST…………… P32
	PEAK…………… P33
	WARNING…………… P34
	LIMITER…………… P35
	SCRAMBLE…………… P36
	SWITCH MODE…………… P37
ショートカット…………… P38	
トラブルシューティング	トラブルシューティング／テストモード…………… P39
	ブーストセッティングのコツ…………… P40
	出荷時設定／症状と対処方法…………… P41
	アフターサービスについて…………… P42

製品を安全にお使い頂くには、正しい取り付けと正しい操作が不可欠です。

この取扱説明書、ならびに、取り付ける車両の取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分に理解された上でお使い下さい。

又、この取扱説明書に書かれていない取り扱いをされる場合に必要な、安全に対する配慮は、お客様ご自分の責任でお考え頂くこととなります。

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を、未然に防ぎ、本製品を安全にお使い頂くために、守って頂きたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよくお読みになり、十分に理解された上でお使い下さい。



もし、お守り頂かないと生命の危機、又は、重傷を負う人身事故につながる恐れのある注意事項です。



もし、お守り頂かないと、製品だけでなく自動車や設備の破損・故障につながる恐れのある注意事項です。












お願い

製品を正しくお使い頂くために、必ず守って頂きたい注意事項です。

重要

製品を正しくお使い頂くために、知っておいて頂きたい注意事項です。

警告

-  取り付け車両を扱う場合は、取り付け車両付属の取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全に運転、管理して下さい。自動車は、誤った扱い方をすると、思わぬ人身事故等を引き起こす恐れがあります。
-  本製品の取り付け作業を行う際は、必ずエンジンが冷えてから行って下さい。エンジン停止直後は、エンジンやエンジンの周りの配管は高温になっており、火傷等をする恐れがあり大変危険です。
-  付属のホースは燃料ラインとしては絶対に使用しないで下さい。重大な人身事故を引き起こす危険があります。
-  必ず自動車の下に燃えやすい物がない事を確認してから、停車、駐車して下さい。自動車の排気部分は高温になり、エンジンを動かしたまま枯れ草等の燃えやすい物の上に停車や駐車すると、火災の危険があります。
-  必要な時以外は、必ずエンジンを停止して下さい。マフラーのテールパイプからは、有毒な成分が含まれた排気ガスが排出され、締め切った車庫や倉庫の中等でエンジンを動かし続けると、一酸化炭素中毒の危険があります。エンジンを動かす時は、屋外、又は窓を開け、換気扇等を回し、新鮮な外気を取り入れられる場所で作業して下さい。
-  車の中で休憩や仮眠をとる時は、必ずエンジンを停止して下さい。エンジンが動いたまま停車、又は駐車して、休憩や仮眠をとると、排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険があります。
-  本製品の取り付け・配線作業は、本来、専門の教育を受けた整備士が行うべき作業です。専門外の方が作業されると、けがや火傷、車両火災を引き起こす可能性があり危険です。
-  取り付け箇所・取り付け方法は慎重に検討し、絶対に脱落しないようにして下さい。誤った取り付け箇所・取り付け方法は、脱落を招き、車両破損、車両火災の原因や運転の妨げになる可能性があり、大変危険です。
-  ハンダゴテ・ニッパー等の工具を使用する場合は、工具付属の取扱説明書をよくお読みの上、注意事項等を守り正しくお使い下さい。これらの工具は誤った使い方をすると、けがや火傷等を引き起こす恐れがあります。
-  作業終了後は、必ず運転席の足元に何も無いことを確認して下さい。運転席の足元に空き缶や使用した工具等があると、ブレーキペダルの下にはさまり、ブレーキ操作が出来なくなる恐れがあり、大変危険です。
-  助手席のエアバック上に、本製品を取り付けしないで下さい。エアバック作動時に飛び出し、ケガや事故を引き起こす原因となり、大変危険です。

- ⚠ 運転中は絶対に本製品の操作をしないで下さい。わき見運転は思わぬ人身事故等を引き起こす恐れがあります。
- ⚠ 車両を発進させる時は、必ず周りに何も無い事を確認して下さい。不用意に発進させると、思わぬ人身や破損の事故等を引き起こす恐れがあります。
- ⚠ 本製品を取り付けた車両を、他の人に貸し出し、又は譲渡する場合は、必ず本製品が取り付けられていることを知らせ、この取扱説明書と保証書も、必ず渡して下さい。

⚠ 注意

- ⚠ 本製品を取り付けて、ノーマルブースト以上に過給圧を上げる場合、ブーストの上げすぎには十分注意して下さい。また、ノーマルブースト以上に上げた分の燃料は増量されませんので、e-manage等を取り付けて必ず燃料を補い、燃料の調整を行って下さい。ブーストの上げすぎは、燃料の調整不良の原因となり、エンジン破損等を引き起こす可能性があります。本製品の使用によって引き起こされたエンジンの破損等の損害に関しては当社は一切の責任を負うことができません。ご使用されるエンジンの仕様にあった調整を行って下さい。
- ⚠ 車種により、過給圧を上げると燃料カットをする車種があります。このような車種にはe-manage等を取り付けて燃料カットが入らないようにして下さい。尚、燃料カットをする車種の取り扱い、調整等については、お買い上げ店、又は、弊社までご相談下さい。
- ⚠ くれぐれも、誤配線、ショートはさせないで下さい。本製品だけでなく取り付け車両の電装系等まで破損させる恐れがあります。これらの取り付けミスによる損害に関して、当社は一切の責任を負うことは出来ません。
- ⚠ 本製品の取り付けには、車両の内外装、および電装系の加工、取り外し等の作業がともないます。当社は、これらの作業による物的損害の責任を負うことは出来ませんので、慎重に作業を進めて下さい。
- ⚠ 配線作業を行う時には、必ず、キーシリンダーからキーを抜き、バッテリーのマイナス端子を外して下さい。配線作業中に電流が流れると、ショートする可能性があり、危険です。
- ⚠ ハンダ付け、スプライスにて配線を接続した場所は、必ずビニールテープ等を巻き、絶縁して下さい。
- ⚠ 配管する際は、ゴムホースが抜けないように、接続部分をホースバンドで固定する事をお勧めします。
- ⚠ 本製品を分解、加工、改造しないで下さい。故障の原因となるだけでなく、保証の対象外となります。

- ⚠ 本製品は、湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や、ヒーターの吹き出し口等、高温になる所、又その近くには取り付けしないで下さい。
- ⚠ 本製品は点火信号や無線等のノイズの発生しやすい場所には設置しないで下さい。又、本製品を強力な電波の発生する場所では使用しないで下さい。電波等によるノイズは、本製品の誤作動を引き起こす恐れがあります。

お願い

- バッテリーのマイナス端子を外すと、メモリー機能を持った時計、オーディオ類、ナビゲーションシステム、および電動シート等記憶内容が消去される物があります。作業前に、車両、及び各製品の取扱説明書で確認した上で作業を始めて下さい。作業終了後、それぞれの取扱説明書に従って設定し直して下さい。
- 本製品は、精密機械の為、落としたり強い衝撃を与えたりしないで下さい。
- 本製品をお買上げ後、7ページのパーツがあることを確認して下さい。
- 新品をお買上げの時点で、コントローラー部とパワーユニットの製品番号が異なっている場合は、お手数ですがお買上げ店、又は弊社までご連絡下さい。
- 本製品のお手入れの際は、乾いた布で拭いて下さい。汚れのひどい場合には、少量の水をつけ固く絞った布で拭いてください。ベンジン・シンナー類を使用すると、ケースや塗装が変質しますので絶対に使用しないで下さい。
- 本製品及び、本取扱説明書は改良の為、予告なく仕様変更をする場合がありますのでご了承下さい。
- 本製品の輸出、使用営業及び賃貸を禁じます。
For Sale and Use in Japan Only.
- 本製品に関するご不明な点等がございましたら、弊社までお問い合わせ下さい。(住所・電話番号は下記記載。最終ページにも記載。)

重要

- 本製品は競技専用部品です。公道では道路交通法等の法規に準じた走行が義務付けられます。
- 本製品は12Vバッテリー搭載車に使用できます。

その他、各項目ごとに注意事項を掲載しておりますので必ずお読み下さい。

株式会社トラスト 本社

T E L .0479 (77) 3000

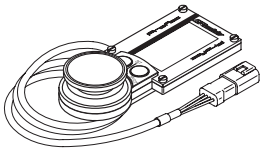
〒289-1605 千葉県山武郡芝山町大台3155番地5

部品構成

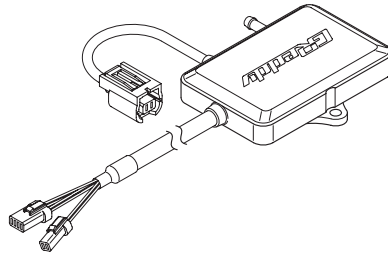
本製品について

お願い

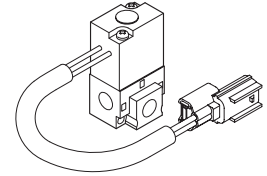
本製品をお買い上げ後、以下の物がある事をご確認下さい。
 また、確認が出来ましたら、本取扱説明書最終ページに付属の保証書に
 本体付属の製品番号を記入して下さい。
 保証書を有効にする為、必ず記入を行って下さい。



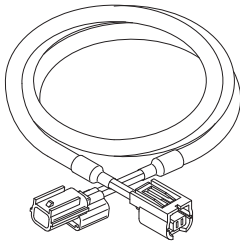
コントローラー部



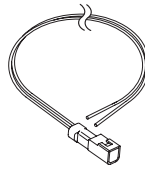
パワーユニット



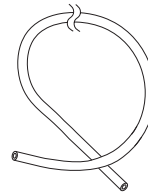
バルブユニット



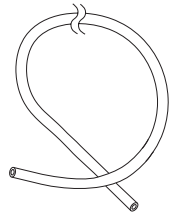
バルブユニットハーネス (1.5m)



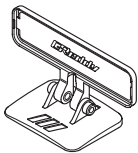
電源ハーネス (1m)



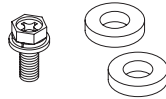
4φホース (1m)



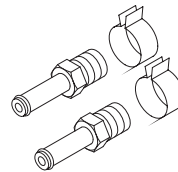
6φホース (1m)



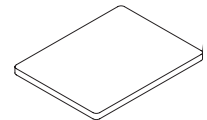
ステー



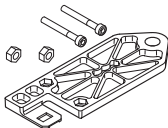
M6 ボルト×1
防振ゴム×2



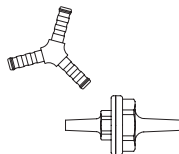
6φホースユニオン×2
ホースクランプ×2



両面テープ



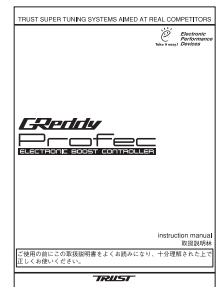
バルブ用ステー
M4 ボルト、ナット×2



スリーウェイ
エアフィルター



保証書
(取扱説明書最終ページに付属)

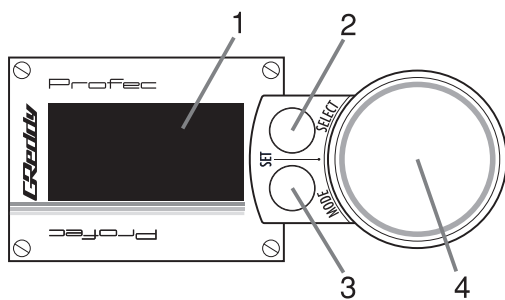


取扱説明書

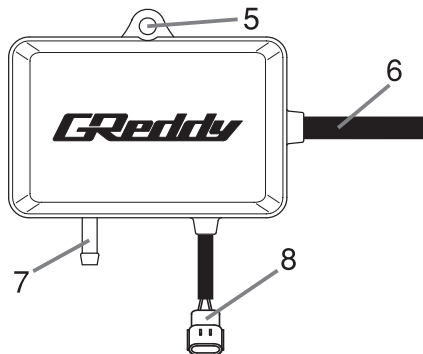
本製品の特徴

- ・視認性に優れた大画面 OLED(有機 EL) ディスプレイを採用し、ブースト圧をリアルタイムに確認可能。
- ・ブースト表示パターンを 3 パターンから選択可能。
- ・コントローラー部と、パワーユニットをセパレートタイプとする事で、取り付けの自由度が上がりました。
- ・厚さ 11mm の薄型コントローラー部 (スイッチ部除く) で、インパネ面に貼り付けも可能。
- ・画面方向を 180° 変える事ができ、ハーネスのレイアウトや、操作部の方向にとらわれません。
- ・300kPa まで対応する高性能圧力センサーを内蔵。
- ・小型大容量ソレノイドバルブ、及び最新の CPU の使用により、従来の製品よりも制御速度が向上。
- ・ブースト設定に LO、HI はもちろん、スクランブルモードの設定も可能。
- ・GAIN, START BOOST を調整する事でブーストの安定性や立ち上がりを調整する事が可能。
- ・設定したブースト値を超えた時、表示とアラームで警告する、ワーニング機能を搭載。
- ・ワーニング作動時に、設定分だけブーストを下げるリミッター機能を搭載。
- ・その時かかっていたブーストの最大値を確認できる、ラストブースト機能を搭載。
- ・ブーストの最大値が確認できるピークホールド機能を搭載。
- ・誤操作による設定値の変更を防ぐ、データロック機能を搭載。

各部の名称



コントローラー部



パワーユニット

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. ディスプレイ | 5. 取付け用ステー 5φ |
| 2. SELECT スイッチ | 6. メインハーネス |
| 3. MODE スイッチ | 7. 圧力センサー (4φ ニップル) |
| 4. SET ダイヤル | 8. バルブユニットハーネス用コネクター |

取り付け前の注意

必ずお読み下さい

取り付けに必要な物と工具

- | | | |
|-------------------------------|-----------------|-----------|
| ・テスター (15V以上計れるもの) | ・ニッパー | ・十、ードライバー |
| ・プライヤーもしくはペンチ | ・10mmスパナもしくはレンチ | |
| ・ハンダゴテ、ハンダもしくは電工ペンチ、ギボシ、スプライス | | |
| ・絶縁テープ、タイラップ | | |

- ・取り付け作業を行う際は、エンジンが冷えている事を確認して下さい。
- ・付属のホースの長さには限りがありますので、配管する前にバルブユニットの取り付け箇所、ホースの取り回しをよく検討した上で作業を始めて下さい。
- ・アクチュエーター、過給圧制御ソレノイドバルブ、フェューエルレギュレーター等の純正部品の場所を確認した上で作業を始めて下さい。
- ・本製品は汎用品の為、車両によりゴムキャップ、ホースバンド、スリーウェイ等が別途必要になる場合がございます。

作業の方へのお願い

- ・取り付け作業が終了しましたら、本取扱説明書は保証書と合わせて、必ずお客様に返却して下さい。

使用者へのお願い

- ・本製品を取り付けた車両を、他の人に貸し出し、または譲渡する場合は、必ず本製品が取り付けられている事を知らせ、本取扱説明書は保証書と合わせて、必ず渡して下さい。

取り付け全体図（アクチュエータータイプ）

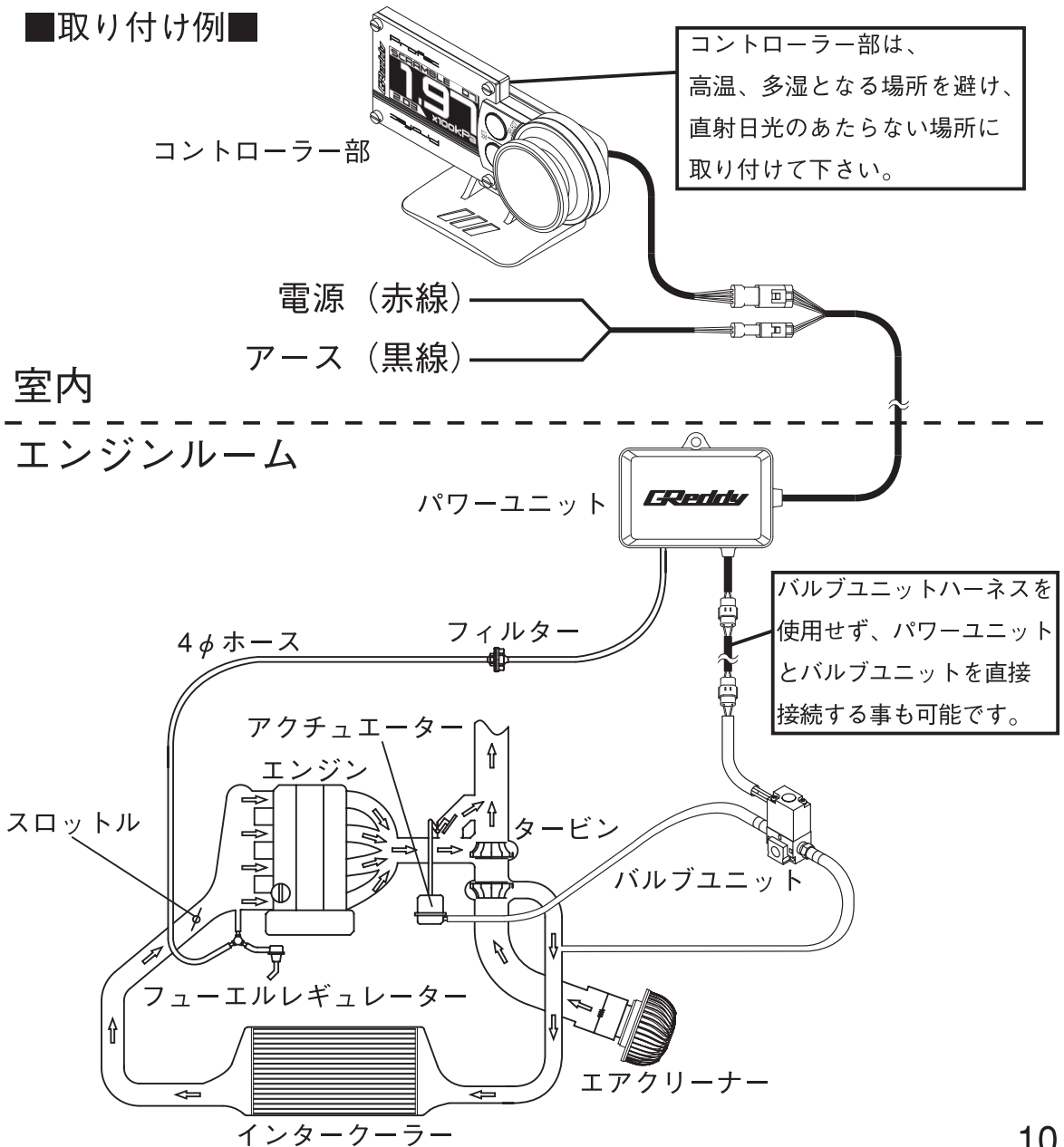
◎本製品はパワーユニットが簡易防水仕様となっており、エンジンルームへ設置が可能です。

室内へ引き込むハーネスが1本の為、ハーネスを何本も室内に引き込む必要がありません。

※エンジンルームから車内へハーネスを引き込むときは断線等しないよう、十分注意してください。

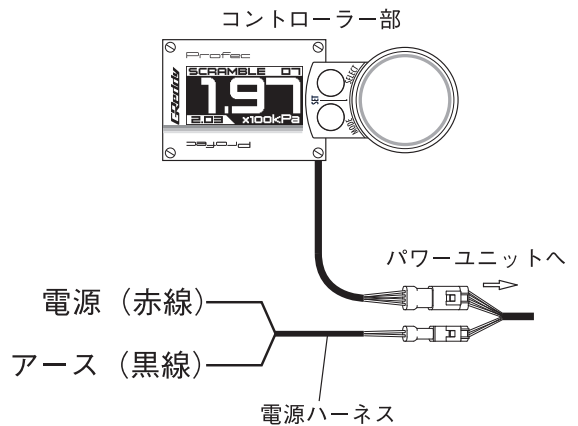
※パワーユニットは簡易防水仕様ですが、極端に水のかかる場所や、高温になる場所には取り付けないで下さい。

■取り付け例■



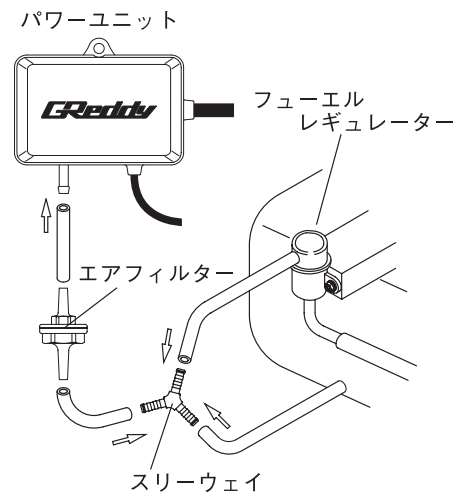
電源配線の接続方法

- ① テスター等を使用しイグニッション ON 時に 12V になる線 (IG 線) を探します。
- ② バッテリーのマイナス端子を取り外し IG 線に電源ハーネスの赤線をハンダ、ギボシ等で接続します。
- ③ 電源ハーネスの黒線をアース線にハンダ、ギボシ等で接続します。ボディアースに接続する場合は接続する金属部分の塗装、サビをヤスリ等で落としてから接続します。



圧力センサーへの配管方法

- ① サージタンクからフューエルレギュレーターに接続されているホース、またはスロットルからインマニ間にある、圧力を取れるホースを途中で切断し、スリーウェイを接続します。
- ② スリーウェイに 4φ ホースを接続します。
- ③ 4φ ホースの長さを調節してエアフィルターを図の向きで接続します。
- ④ エアフィルターのもう一方とパワーユニットの圧力センサー (4φ ニップル) を 4φ ホースで接続します。



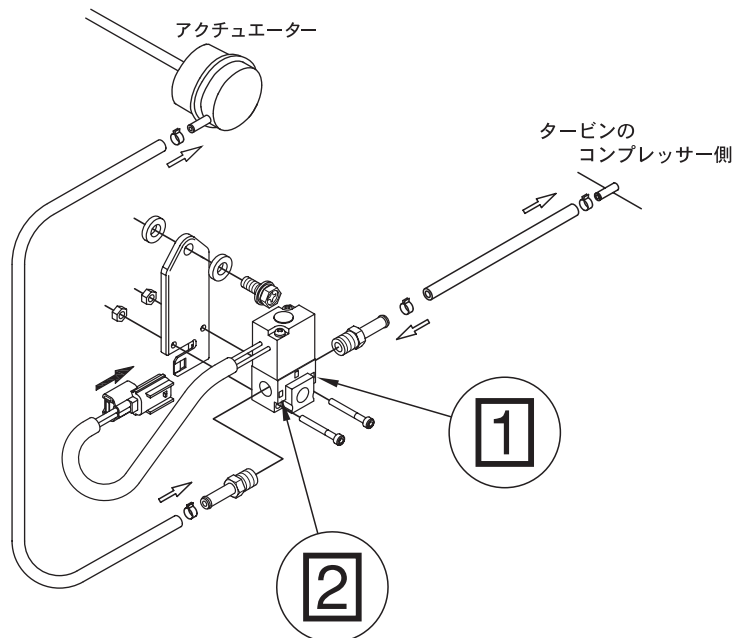
⚠ 注意

- ⚠ 4φ ニップル部分には無理な力がかからないようにして下さい。
- ⚠ 接続した 4φ ホースは必ず、タイラップ等で抜け止めをして下さい。

重要

- ・ トヨタのJZ系、三菱の4G63エンジン等で、燃圧制御ソレノイド付車両の場合、サージタンクと燃圧制御ソレノイドの間で、圧力センサーを接続して下さい。
- ・ GT-R 等、6 連スロットルの場合、バランスチューブから圧力を取り出して下さい。
- ・ エアフィルターは必ず取り付けて下さい。
- ・ エアフィルターは消耗品です。汚れがひどい場合新しいものに交換して下さい。

バルブユニットの取り付け、配管（アクチュエータータイプ）



- ①バルブユニットの①、②に6φホースユニオンを取り付けます。
- ②バルブユニット本体、及びコネクターを上図のようにステーに組み付け、付属のボルトを使用し、防振ゴムを上下に介して、アクチュエーター付近のボディーに取り付けます。
- ③アクチュエーターから、タービンのコンプレッサー側に接続されているホースをアクチュエーター側で取り外し、バルブユニットの①に接続します。
- ④アクチュエーターに、付属の6φホースを接続し、もう一方を長さを調節して切断し、バルブユニットの②に接続します。

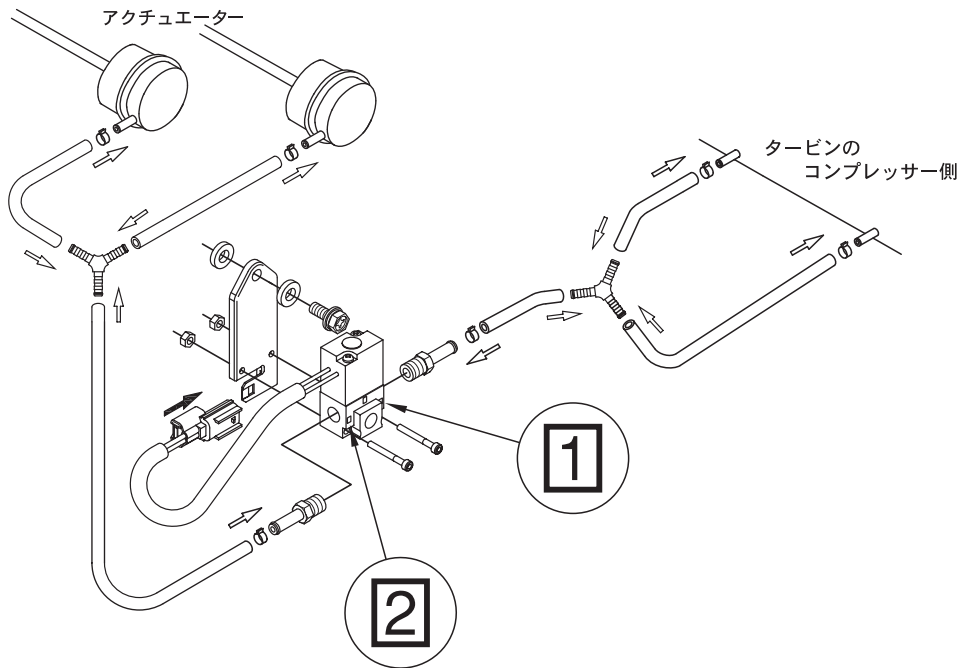
※過給圧制御用ソレノイドバルブ付車両の配管は P14 参照。

重要

- ・バルブユニットは、高温になる場所は避け、風通しのいい場所で、水のかからない場所に取り付けて下さい。
- ・接続したホースは、ホースバンド等で、確実に固定して下さい。
- ・純正のホースにホースバンドが使用されていた箇所に配管する場合、純正のホースバンドも使用して下さい。
- ・ホースを配管する際は、ホースがつぶれたり、よじれたりしないように注意して下さい。
- ・ホースがなるべく短くなるように配管して下さい。
- ・バルブユニットから出る音は、ソレノイドの作動音であり異常ではありません。
- ・バルブユニットは、必ず防振ゴムを介して取り付けして下さい。

バルブユニットの取り付け、配管（アクチュエータータイプ）

■ ツインターボ車両の場合 ■

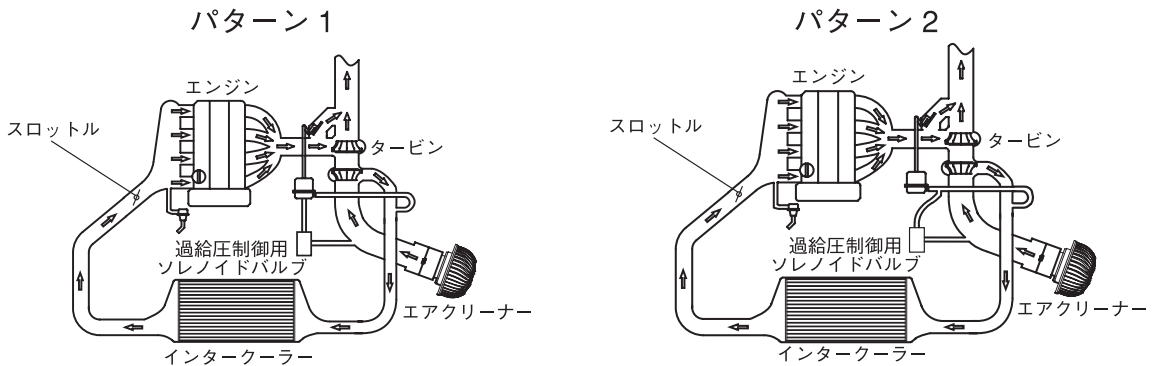


- ◎ ツインターボ車両の場合、スリーウェイが二つ別途で必要になります。基本的な配管は P12 のアクチュエータータイプの配管と同じになります。バルブユニットの①側の配管はスリーウェイで分岐し、両方のタービンのコンプレッサー側に接続します。バルブユニットの②側の配管もスリーウェイで分岐し、両方のアクチュエーターに接続します。

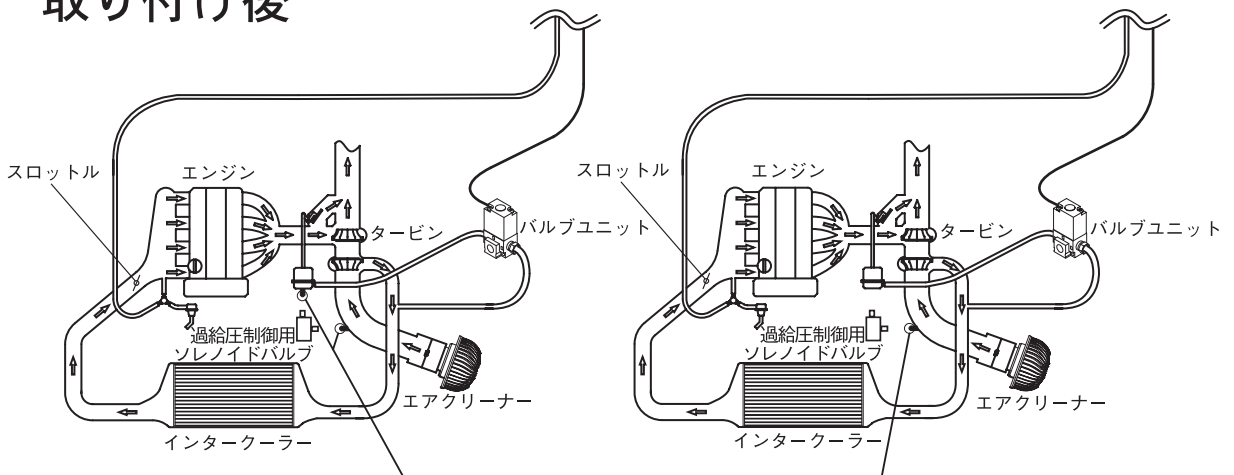
過給圧制御用ソレノイドバルブ付車両の配管例

過給圧制御ソレノイドバルブ付車両の場合、下図のように配管して下さい。

取り付け前

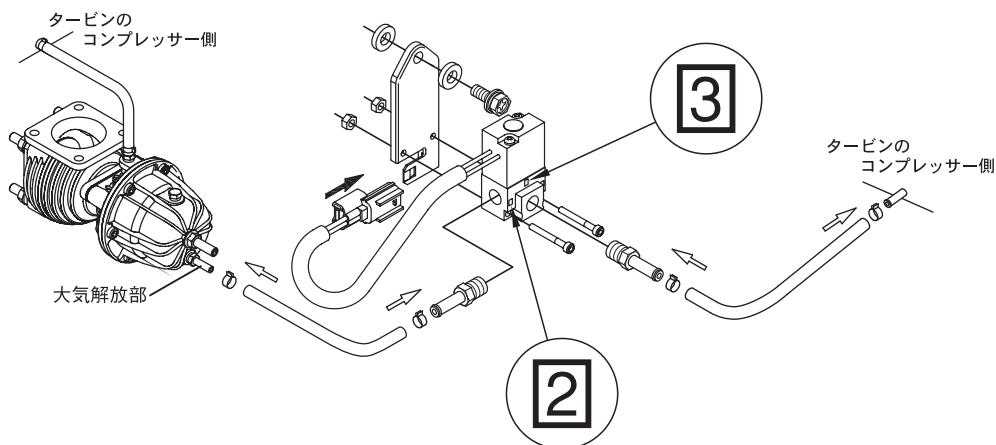


取り付け後



過給圧制御ソレノイドバルブに繋がっていた部分にゴムキャップをし、抜けない様にホースバンド、タイラップ等で確実に固定して下さい。

バルブユニットの取り付け、配管（ウエストゲートタイプ）



- ①バルブユニットの②、③に6φホースユニオンを取り付けます。
- ②バルブユニット本体、及びコネクターを上図のようにステーに組み付け、付属のボルトを使用し、防振ゴムを上下に介して、ウエストゲート付近のボディに取り付けます。
- ③ウエストゲートの大気解放部に6φ-1/8PTアダプター（別売）を取り付けます。
- ④ウエストゲートに取り付けた6φ-1/8PTアダプターに、付属の6φホースを接続し、もう一方を長さを調節して切断し、バルブユニットの②に接続します。
- ⑤付属の6φホースをバルブユニットの③に接続し、もう一方の長さを調節して、タービンのコンプレッサー側からサージタンクの中のブースト圧が安定してとれる箇所に接続して下さい。

※ツインターボ車両の場合、バルブユニットの②側の配管をスリーウェイで分岐し、二つのウエストゲートに接続します。

重要

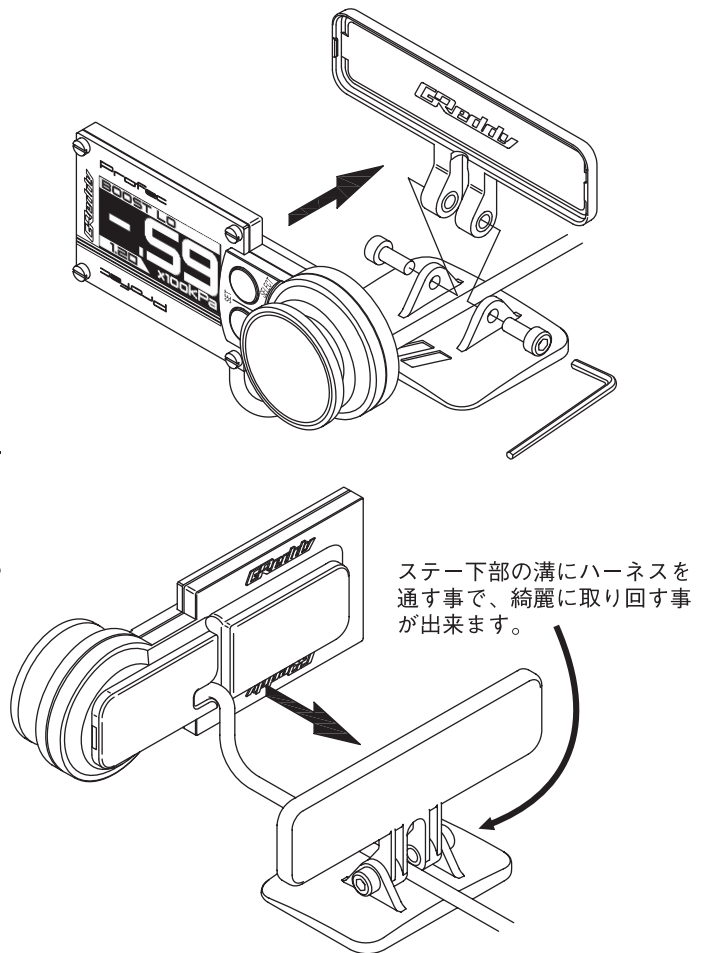
- バルブユニットは、高温になる場所は避け、風通しのいい場所で、水のかからない場所に取り付けて下さい。
- 接続したホースは、ホースバンド等で、確実に固定して下さい。
- ホースを配管する際は、ホースがつぶれたり、よじれたりしないように注意して下さい。
- ホースがなるべく短くなるように配管して下さい。
- バルブユニットから出る音は、ソレノイドの作動音であり異常ではありません。
- バルブユニットは、必ず防振ゴムを介して取り付けして下さい。

本体の取り付け

- ◎コントローラー部の配線の取り回し、取り付け位置が決まったら、コントローラー部をステーに取り付け、固定します。

■取り付け方法■

- ①ステーは、根元のネジで、首降り角度が調整出来ます。お好みの角度に調整し、六面レンチで左右のボルトを固定して下さい。
- ②ステーにコントローラー部を取り付けます。ステーの溝とコントローラー部を合わせ、「カチッ」と音がするまで押し込みます。コントローラー部は左右どちらでも取り付けが可能です。



⚠ 警告

- ⚠ 助手席のエアバック上に、本製品を取り付けしないで下さい。エアバック作動時に、飛び出し、ケガや事故を引き起こす原因となり、大変危険です。

お願い

- ・ 両面テープを貼る面は、中性洗剤を使って汚れ、油分をよく拭き取って下さい。

重要

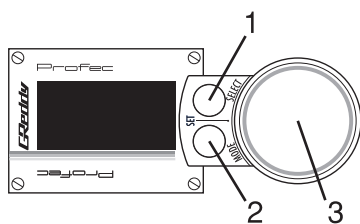
- ・ 本体は、運転の妨げにならない位置に確実に取り付けて下さい。また、高温、多湿となる場所を避け、直射日光のあたらない場所に取り付けて下さい。

- ①電源ハーネス、バルブユニット、コントローラー部のコネクターを接続して下さい。
- ②取り外した純正部品を元通りに取り付けて下さい。
- ③ハーネス、ホース等が無理な取り回しになっていないか確認して下さい。
- ④可動部分や回転部分の動きに支障が無いようにハーネス、ホースがまとめられているか確認して下さい。
- ⑤バッテリーのマイナス端子を元通りに取り付けて下さい。
- ⑥エンジンを始動し、電源が入り、ディスプレイが正しく表示するか確認して下さい。
- ⑦アイドリング状態で、負圧を正しく認識しているか確認して下さい。
- ⑧各ホースからエアがもれていないか確認して下さい。

重要

- ・表示や動作に異常がある場合、すぐにエンジンを止め、各部の点検を行って下さい。
- ・本製品は、テストモードにてバルブユニットの動作、ディスプレイ表示の確認が可能です。
テストモードを行う場合は P18、及び P39 を参照しテストを行ってください。

基本操作



コントローラー部

1. SELECT スイッチ

- ・押す：HI、LO を切り替えます。
- ・長押し：OFF になります。同じ操作で元に戻ります。

2. MODE スイッチ

- ・押す：リアルタイム表示画面とブースト設定リスト（またはセットアップ）画面を切り替えます。設定値変更中に、変更をキャンセルします。
- ・長押し：ピーク値のリセットが出来ます。

3. SET ダイアル

- ・回す：各設定値の変更や、メニューをスクロールさせる時に使います。
リアルタイム表示の場合、SET 値変更画面にショートカット出来ます。
- ・押す：各設定値の確定や、リアルタイム表示 LO または HI からスクランブルモードに移行する時に使います。

お願い

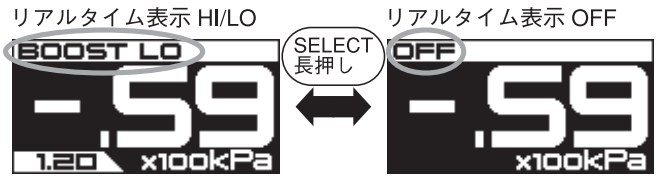
- ・SET ダイアルは丁寧に操作して下さい。強く押したり、無理な早さで回したりすると、認識しない可能性があります。

基本操作

◎本製品は基本的に各リアルタイム表示画面から各設定画面に移行します。画面切り替えの基本操作は以下の通りになります。19,20 ページの操作早見表も合わせてご覧ください。

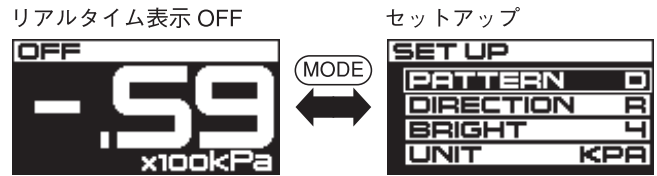
■ パワー ON/OFF ■

リアルタイム表示 LO または HI から SELECT スイッチを2秒間長押しする事で OFF になります。同じ操作で元に戻ります。



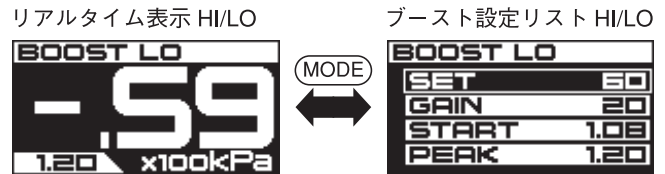
■ 基本設定～セットアップ～ ■

リアルタイム表示 OFF から MODE スイッチを押すと、セットアップ画面になり、画面表示等の基本設定を変更出来ます。→P21 参照



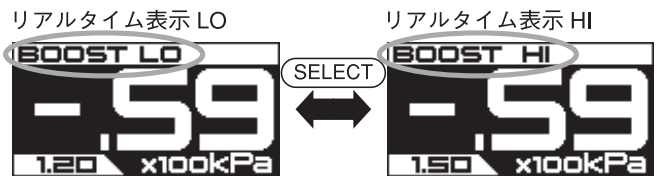
■ ブースト設定リスト ■

リアルタイム表示 LO または HI から MODE スイッチを押すと、それぞれのブースト設定リスト画面になります。各ブースト設定はこちらで行います。→P29 参照



■ HI/LO の切り替え ■

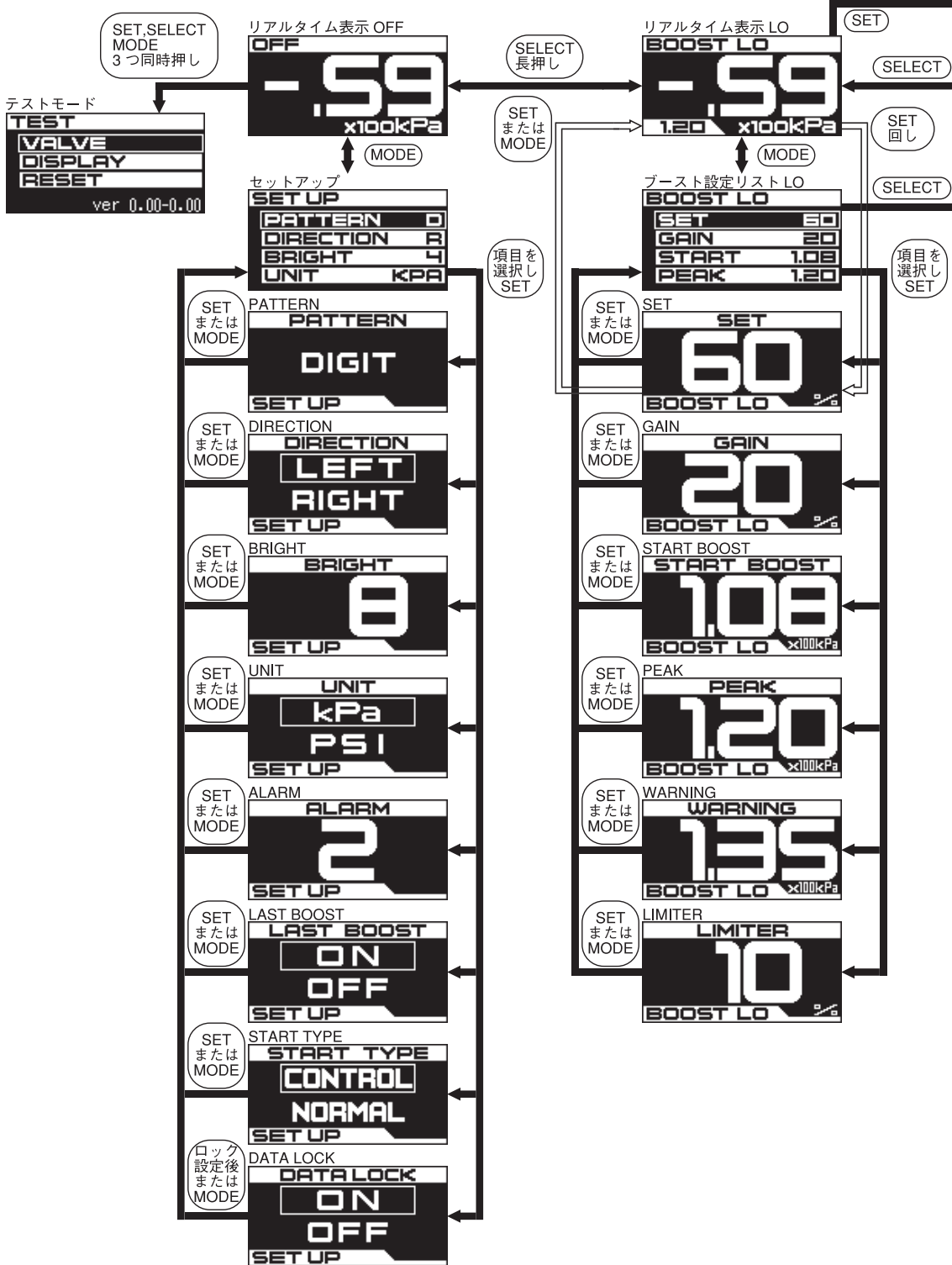
リアルタイム表示 LO または HI から SELECT スイッチを押す事で HI/LO を切り替えられます。



重要

- OFF では、ノーマルブースト (最低ブースト) になり、アクチュエーター (ウエストゲート) のブースト制御のみになります。過給圧制御ソレノイドバルブ付車両は、過給圧制御ソレノイドバルブが機能していない状態が最低ブーストとなり、機能している状態のブーストより低くなります。
- ノーマルブーストは車種やアクチュエーター、ウエストゲートの仕様によって異なります。
- ノーマルブースト (最低ブースト) 以下にする事は出来ません。
- 本製品は OFF でもバックライトを消す事はできません。

操作早見表



基本操作

セットアップ

◎セットアップ画面では、画面表示や単位切り替え、音設定等の基本設定を変更出来ます。

■設定方法■

①リアルタイム表示 OFF から
MODE スイッチを押すと、
セットアップ画面になります。



②セットアップ画面にて、
変更したい項目へ進んでください。



セットアップ内では以下の項目の設定変更が出来ます。

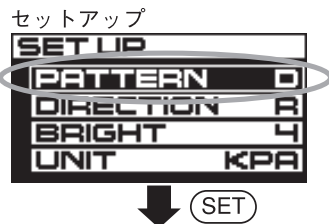
- ・ PATTERN・・・ディスプレイの表示パターンが変更出来ます。P22 参照
- ・ DIRECTION・・・ディスプレイの表示方向が変更出来ます。P23 参照
- ・ BRIGHT・・・ディスプレイ、スイッチ部の明るさが変更出来ます。P23 参照
- ・ UNIT・・・圧力表示の単位切り替えが出来ます。P24 参照
- ・ ALARM・・・ワーニング、リミッター作動時のアラーム音を変更出来ます。P24 参照
- ・ LAST・・・LAST BOOST の設定を変更出来ます。P25 参照
(LAST BOOST)
- ・ ST.TYPE・・・START BOOST の動作方法を変更出来ます。P26 参照
(START TYPE)
- ・ LOCK・・・DATA LOCK の設定を変更出来ます。P27～28 参照
(DATA LOCK)

PATTERN

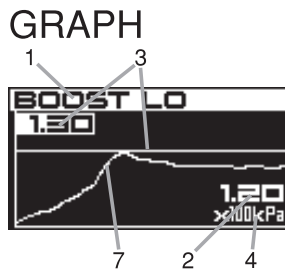
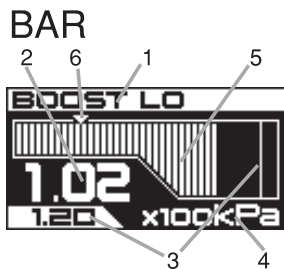
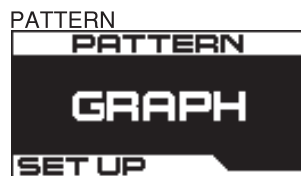
◎リアルタイム表示 (LO、HI、スクランブル、OFF) 時のディスプレイ表示パターンを変更出来ます。

■設定方法■

①セットアップ画面から PATTERN を選択します。



②希望のパターンに変更し、SET ダイアルを押して確定します。
※選択中に MODE スイッチを押すと、キャンセルされセットアップ画面に戻ります。



1. ブースト設定モード
2. ブースト現在値
3. ピーク値
4. 単位
5. バー表示
6. $0 \times 100\text{kPa}$ の点
7. グラフ表示

※ピーク値が更新されると、3 秒間点滅表示します。

※バー表示のスケールは負圧～0 は変わらず、正圧部分は 0～ワーニング設定値になります。

※グラフ表示のスケールは、記録開始ブースト値 (下記)～ワーニング設定値になります。

※左端から右端まで流れる時間は 10 秒です。

※ GRAPH 選択時のみ、パターン選択後、記録開始ブースト値の設定画面になります。
希望の値に変更、確定してください。

設定範囲：0～3.00×100kPa

GRAPH 表示では、ここで設定したブースト値以上になってから 10 秒間のグラフを記録出来ます。
再度、設定したブースト値を超えると記録を上書きして表示します。



★PATTERN のショートカットについては P38 へ

DIRECTION

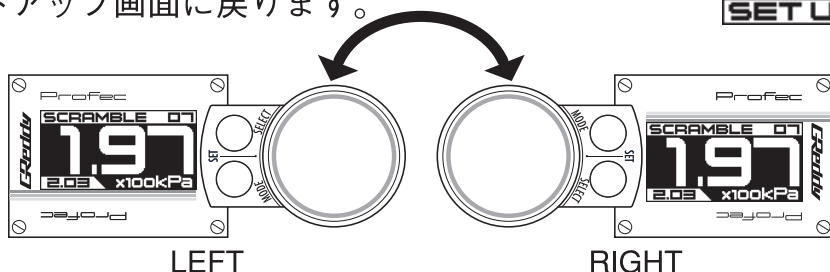
- ◎ディスプレイの表示方向を反転させる事が可能です。
取り付けレイアウトや、操作部の方向に合わせて変更出来ます。

■設定方法■

- ①セットアップ画面から DIRECTION を選択します。



- ②希望の設定に変更し、
SET ダイアルを押して確定します。
※選択中に MODE スイッチを押すと、キャンセルされ
セットアップ画面に戻ります。



BRIGHT

- ◎ディスプレイ表示部、及びボタン照明の明るさを調整出来ます。
値を大きくすると明るく、小さくすると暗くなります。

■設定方法■

- ①セットアップ画面から BRIGHT を選択します。



- ②希望の BRIGHT 値に変更し、
SET ダイアルを押して確定します。
設定範囲：0～10
※変更中に MODE スイッチを押すと、変更は
キャンセルされセットアップ画面に戻ります。



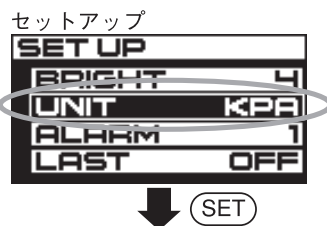
UNIT

- ◎圧力表示の単位を切り替える事が可能です。
出荷時設定は kPa ですが、PSI に変更出来ます。

100kPa=1.01972kg/cm²=14.5PSI

■設定方法■

- ①セットアップ画面から UNIT を選択します。



- ②希望の設定に変更し、
SET ダイヤルを押して確定します。
※選択中に MODE スイッチを押すと、キャンセルされ
セットアップ画面に戻ります。

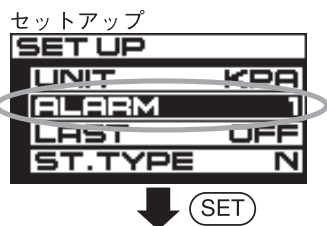


ALARM

- ◎ワーニング、及びリミッター作動時のアラーム音を変更できます。

■設定方法■

- ①セットアップ画面から ALARM を選択します。



- ②希望のアラームパターンに変更し、
SET ダイヤルを押して確定します。
選択中は、そのアラーム音が鳴り続けます。
※選択中に MODE スイッチを押すと、キャンセルされ
セットアップ画面に戻ります。



アラーム OFF : なし (無音)
アラーム 1 : ピピッ ピピッ
アラーム 2 : ピピピピピ
アラーム 3 : ピ-----

LAST BOOST

- ◎ アクセルを OFF にした時、その時かかっていたブーストのピーク (最大) 値を確認できます。
この機能の ON/OFF を設定します。

■ 設定方法 ■

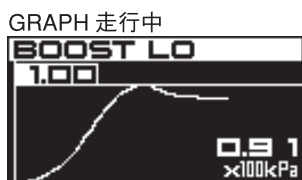
- ① セットアップ画面から LAST を選択します。



- ② 希望の設定に変更し、
SET ダイヤルを押して確定します。
※ 選択中に MODE スイッチを押すと、キャンセルされ
セットアップ画面に戻ります。



LAST BOOST を ON にすると、走行 (一度正圧がかかり、負圧に入るまで) する毎に、その時のブーストのピーク (最大) 値を毎回 3 秒間リアルタイム表示部に点滅表示します。



START TYPE

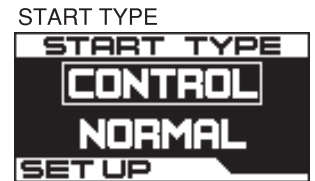
◎ブースト設定の START BOOST(P32 参照) の動作方法を変更出来ます。

■設定方法■

①セットアップ画面から ST.TYPE を選択します。



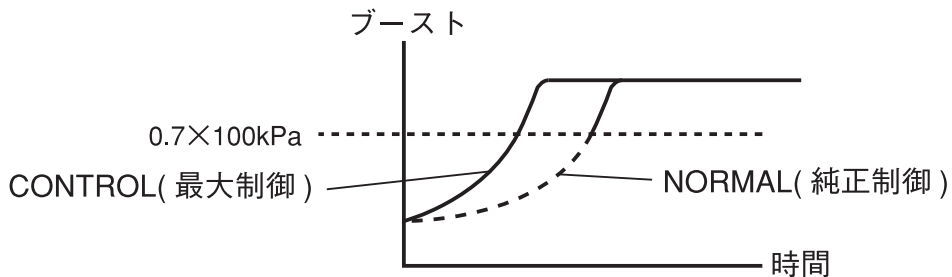
②希望の設定に変更し、
SET ダイヤルを押して確定します。
※選択中に MODE スイッチを押すと、キャンセルされ
セットアップ画面に戻ります。



CONTROL : START BOOST 値 (P32 参照) まで目一杯ブーストを上げようとしています。

NORMAL : START BOOST 値まで制御しない状態 (ノーマルブースト) になります。

例 : START BOOST 値 $0.7 \times 100\text{kPa}$ の場合、
 $0.7 \times 100\text{kPa}$ までのブースト制御の方法が変わります。

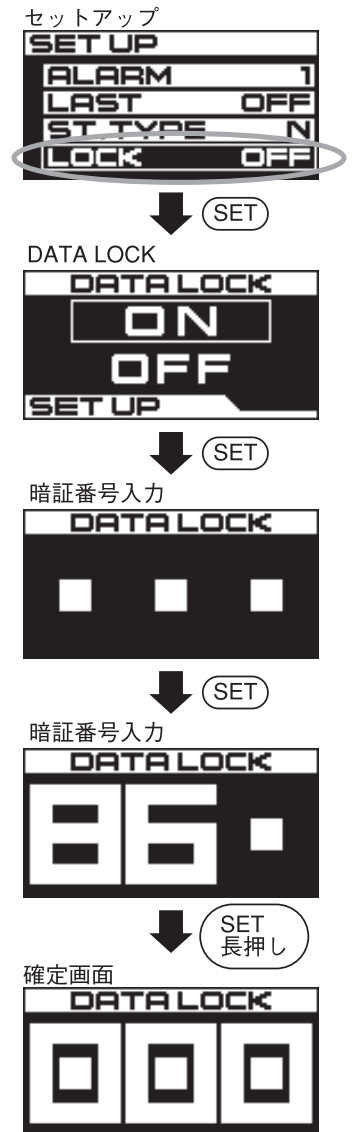


DATA LOCK

- ◎暗証番号を設定し、LO、HI、スクランブルそれぞれのブースト設定にロックをかける事で、誤操作等による設定変更を防ぐ事が出来ます。
※セットアップの項目はロックされませんので、PATTERN や ALARM 等の変更は出来ます。(START TYPE を除く)

■設定方法■

- ①セットアップ画面から LOCK を選択します。
- ② ON に合わせて SET ダイアルを押します。
- ③暗証番号入力画面になりますので、SET ダイアルを回し、1 ケタ目の数字を入力します。
※変更中に MODE スイッチを押すと、キャンセルされセットアップ画面に戻ります。
- ④ SET ダイアルを押すと、2 ケタ目に移行しますので、同様に 2 ケタ目、3 ケタ目の数字を入力します。
※3 ケタ目入力中に SET ダイアルを押すと 1 ケタ目に戻ります。
- ⑤ 3 ケタの数字が決まったら、SET ダイアルを 3 秒間長押しで、暗証番号が確定されます。
確定後、セットアップ画面に戻ります。



DATA LOCK

データロックがかかると、画面右上にカギマークのアイコンが表示されます。
データのロック中は、ブースト制御に関わる設定の設定値確認は出来ませんが、変更が出来ません。

DATA LOCK 後



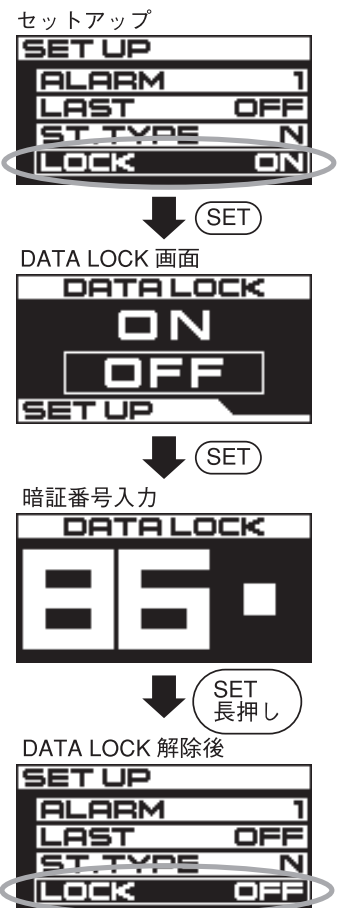
DATA LOCK マーク

⚠ 注意

⚠ 設定した暗証番号は、メモを取る等し忘れないようにして下さい。

■解除方法■

- ① セットアップ画面から LOCK を選択します。
- ② OFF に合わせて SET ダイヤルを押します。
- ③ 暗証番号入力画面になりますので、設定時に入力した数字を入力します。
※変更中に MODE スイッチを押すと、キャンセルされセットアップ画面に戻ります。
- ④ 3ケタの数字が入力したら、SET ダイヤルを3秒間長押しで、データロックが解除されセッティング画面に戻ります。
暗証番号を間違えた場合はセットアップ画面に戻りません。
※暗証番号を忘れてしまった場合は P39 参照。



ブースト設定リスト

◎ブースト設定リスト画面では、LO、HI、スクランブルそれぞれのブースト設定を変更出来ます。

※スクランブルモードについては P36～37 参照。

■設定方法■

①リアルタイム表示から MODE スイッチを押すと、それぞれのブースト設定リスト画面になります。



②ブースト設定リスト画面にて、変更したい項目へ進んでください。



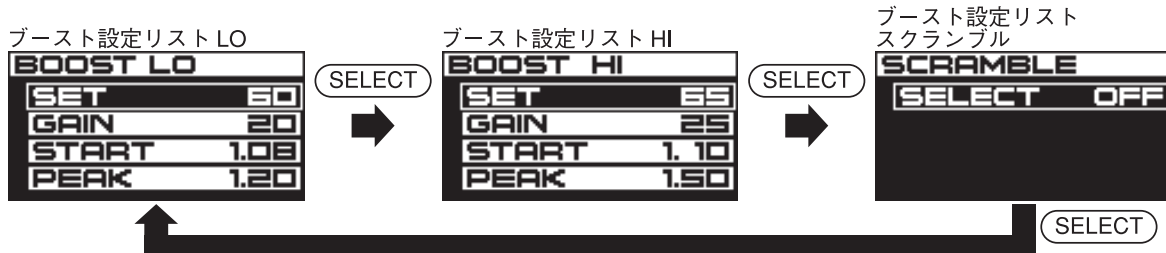
ブースト設定リスト内では以下の項目の設定変更が行え、LO、HI それぞれ別々にブースト設定が出来ます。

※スクランブルモードの設定項目については P36～37 参照。

- ・ SET SET 値の変更が出来ます。P30 参照
- ・ GAIN GAIN 値の変更が出来ます。P31 参照
- ・ START START BOOST 値の変更が出来ます。P32 参照
(START BOOST)
- ・ PEAK PEAK 値の確認、クリアが出来ます。P33 参照
- ・ WARNING WARNING 値の変更が出来ます。P34 参照
- ・ LIMITER LIMITER 値の変更が出来ます。P35 参照

■ブースト設定リスト切り替え方法■

ブースト設定リスト画面では、SELECT スイッチを押す毎にモードの変更が出来ます。



SET

◎目標とするブーストを調整する時に設定します。

ここで設定する％はバルブの制御量であり、ブースト値ではありません。

- ・大きくするとブーストが上がり、小さくするとブーストが下がります。
- ・100％に設定するとそのタービンの限界までブーストが上がります。
- ・0％に設定するとノーマルブースト（最低ブースト）になります。

■設定方法■

①ブースト設定リストから SET を選択します。



② SET ダイアルにて希望の SET 値に変更出来ます。

設定範囲：0～100％

※変更中に MODE スイッチを押すと、変更はキャンセルされブースト設定リストに戻ります。



③ SET ダイアルを押して確定すると、ブースト設定リストに戻ります。



★SET のショートカットについては P38 へ

重要

- ・車両やタービンの特性が原因で目標ブーストまで上がらない可能性があります。

GAIN

- ◎インターセプト後のブーストを調整するときに設定します。
- ・SET 値、START BOOST 値をベースとし、ブースト制御に補正をします。
- ・START BOOST 値が $0 \times 100\text{kPa}$ の場合、GAIN は作動しません。

■設定方法■

①ブースト設定リストから GAIN を選択します。

ブースト設定リスト

BOOST LO	
SET	50
GAIN	10
START	0.50
PEAK	1.20



② SET ダイヤルにて希望の GAIN 値に変更出来ます。

設定範囲：-99～100%

※変更中に MODE スイッチを押すと、変更はキャンセルされブースト設定リストに戻ります。

GAIN

GAIN	
20	%
BOOST LO	

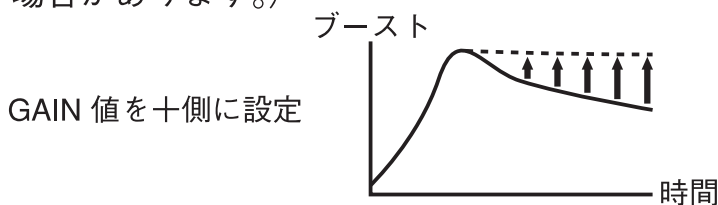


③ SET ダイヤルを押して確定すると、ブースト設定リストに戻ります。

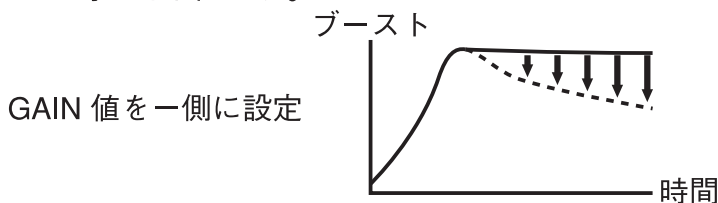
ブースト設定リスト

BOOST LO	
SET	50
GAIN	20
START	0.50
PEAK	1.20

ブーストのたれを改善したい場合、十側に補正することでブーストを上げる事が出来ます。(車両やタービンの特性が原因の場合は改善できない場合があります。)



SET 値、START BOOST 値と併用し、インターセプト後のブーストを下げる事が出来ます。



※GAIN を上げすぎると、インターセプト後にブーストが波打ってしまう可能性があります。

START BOOST

◎ブーストの立ち上がりを調整するときに設定します。
START TYPE の設定により動作の方法が変わります。(P26 参照)

・CONTROL の場合

ここで設定したブースト値までは目一杯ブーストを上げようとします。
目標ブーストに近い値を入力すれば、立ち上がりが早くなります。

・NORMAL の場合

ここで設定したブースト値まではブースト制御をせずノーマル状態になります。

■設定方法■

①ブースト設定リストから START を選択します。

ブースト設定リスト

BOOST LO	
GAIN	20
START	0.50
PEAK	1.20
WARNING	1.20



② SET ダイヤルにて

希望の START BOOST 値に変更出来ます。

設定範囲：0～3.00×100kPa

※変更中に MODE スイッチを押すと、変更はキャンセルされブースト設定リストに戻ります。

START BOOST

START BOOST	
1.08	
BOOST LO	×100kPa



③ SET ダイヤルを押して確定すると、
ブースト設定リストに戻ります。

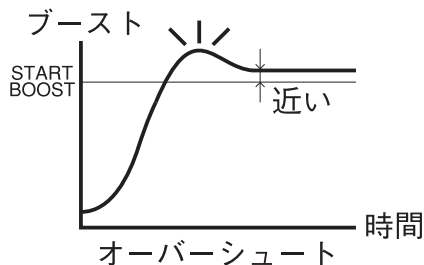
ブースト設定リスト

BOOST LO	
GAIN	20
START	1.08
PEAK	1.20
WARNING	1.20

START TYPE が CONTROL の場合、目標ブーストに START BOOST 値が近すぎるとオーバーシュートしやすくなります。

この場合、START BOOST 値を下げてください。

※オーバーシュート・・・瞬間的に設定ブースト値を超えてしまう現象

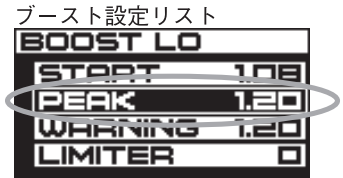


PEAK

- ◎ ブーストのピーク (最大) 値を記憶して表示します。(正圧のみ)
以前クリアされた時からの最大値になります。
ピーク値はバッテリーを外してもクリアされるまで消えません。

■ ピーク値の表示、及びクリア方法 ■

- ① ブースト設定リストから PEAK を選択します。



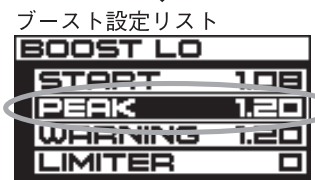
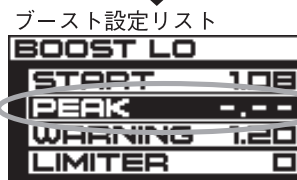
- ② 以前クリアされた時からのピーク値が表示されます。
SET ダイヤルを 1 秒間長押しするとピーク値がアラーム音と共にリセットされ、ブースト設定リストに戻ります。
この時、長押しせずに SET ダイヤルを押すとピーク値はリセットされずにブースト設定リストに戻ります。



SET
長押し

SET
または
MODE

- ※MODE スイッチを押しても、キャンセルされブースト設定リストに戻ります。



★PEAK リセットのショートカットについては P38 へ

WARNING

- ◎リアルタイム表示時、ここで設定したブースト値以上になると、画面とアラーム音で警告します。
- ・これ以上かけたくないブースト値を入力します。

■設定方法■

- ①ブースト設定リストから WARNING を選択します。



- ② SET ダイヤルにて希望の WARNING 値に変更出来ます。
設定範囲：0～3.00×100kPa
※変更中に MODE スイッチを押すと、変更はキャンセルされブースト設定リストに戻ります。



- ③ SET ダイヤルを押して確定すると、ブースト設定リストに戻ります。



■ワーニング作動中の動作について■

ブースト値が上記で設定した値以上になるとワーニング画面に移行します。
ワーニング画面では ⚠ マークが表示され、アラーム音が鳴ります。



LIMITER

- ◎ワーニングで設定したブースト値を超えた時、どの位ブーストを下げるかを設定します。設定した%だけバルブの制御量をマイナスします。
・0%に設定すると、リミッターは作動しません。

■設定方法■

- ①ブースト設定リストから LIMITER を選択します。



- ② SET ダイヤルにて
希望の LIMITER 値に変更出来ます。

設定範囲：0～20%

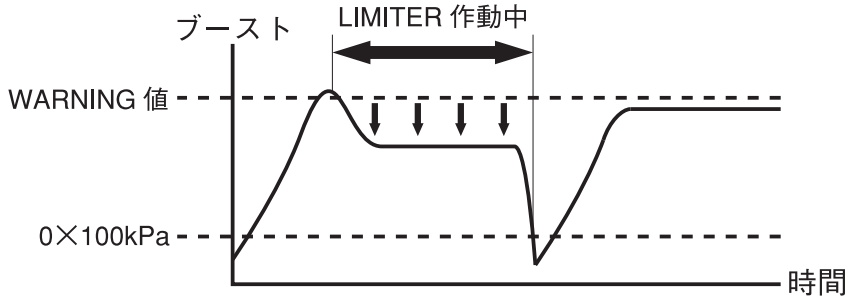
※変更中に MODE スイッチを押すと、変更は
キャンセルされブースト設定リストに戻ります。




- ③ SET ダイヤルを押して確定すると、
ブースト設定リストに戻ります。



一度ワーニング値を超え、リミッターが作動すると、負圧を認識するまでリミッターが作動し続けます。



■リミッター作動中の動作について■

ブースト値がワーニング値を超え、リミッターが作動すると、マークが表示され、アラーム音が鳴ります。
※ワーニングとリミッターが同時に作動している間はワーニングの表示が優先されます。

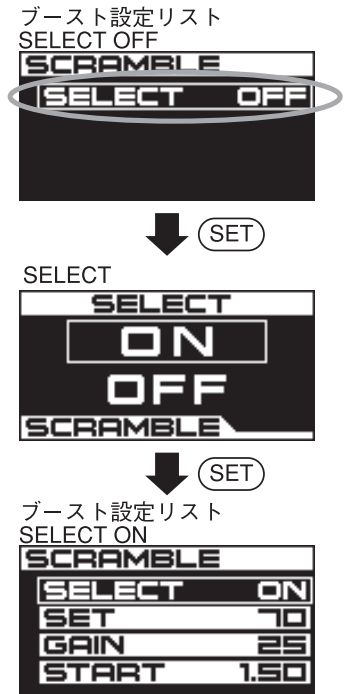


SCRAMBLE

- ◎スクランブルモードとは、リアルタイム表示の状態から、SET ダイアルを押す事で、任意の時間分ブーストアップさせる事ができる機能です。ブースト設定リストスクランブルでは、スクランブルモード時のブースト設定を変更できます。

■設定方法■

- ① HI のブースト設定リストから SELECT スイッチを押し、スクランブルのブースト設定リストへ移行します。
そこで SELECT を選択します。P29 参照
※出荷時設定では OFF に設定されています。
- ② ON に合わせて SET ダイアルを押します。
※選択中に MODE スイッチを押すと、キャンセルされブースト設定リストに戻ります。
- ③ SELECT が ON になると、スクランブルモードでの各設定が可能になります。



スクランブルモードでは以下の項目の設定変更が出来ます。
LO、HI とは設定出来る項目が違います。

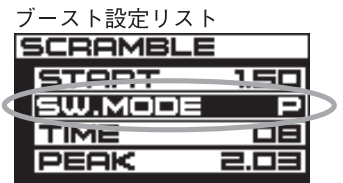
- ・ SELECTスクランブルモードの使用 ON/OFF を変更出来ます。
- ・ SET SET 値の変更が出来ます。P30 参照
- ・ GAIN GAIN 値の変更が出来ます。P31 参照
- ・ START START BOOST 値の変更が出来ます。P32 参照
(START BOOST)
- ・ SW. MODEスクランブルモードへの移行方法を選択出来ます。P37 参照
(SWITCH MODE)
- ・ TIMEスクランブルモードへの移行時間の設定が出来ます。P37 参照
(SW. MODE を PRESET に選択時のみ)
- ・ PEAK PEAK 値の確認、クリアが出来ます。P33 参照
- ・ WARNING WARNING 値の変更が出来ます。P34 参照
- ・ LIMITER LIMITER 値の変更が出来ます。P35 参照

SWITCH MODE

◎スクランブルモードへの移行方法を選択できます。

■設定方法■

①ブースト設定リストから SW. MODE を選択します。



② SET ダイアルにて希望の設定に変更出来ます。
※選択中に MODE スイッチを押すと、キャンセルされ
ブースト設定リストに戻ります。



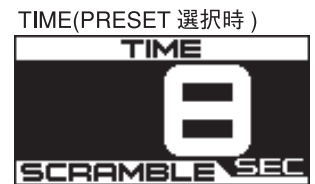
MANUAL : SET ダイアルを押し続けている間だけ
スクランブルモードへ移行します。

PRESET : SET ダイアルを押した後、設定時間だけ
スクランブルモードへ移行します。

※ PRESET 選択時のみ TIME の項目へ移行します。
希望の秒数に変更、確定してください。

設定範囲 : 1~99sec

※ PRESET 選択時は、ブースト設定リストに TIME の
項目が表示されます。



■スクランブルモード時の表示について■

スクランブルモードの SELECT を ON にすると、
リアルタイム表示の状態から、SET ダイアルを押す
事でスクランブルモードに移行できるようになります。
この時、SWITCH MODE を PRESET にしている場合、
画面右上に残りカウント数を表示します。
カウント中であっても、もう一度 SET ダイアルを
押すと、スクランブルモードを終了し、
リアルタイム表示に戻ります。



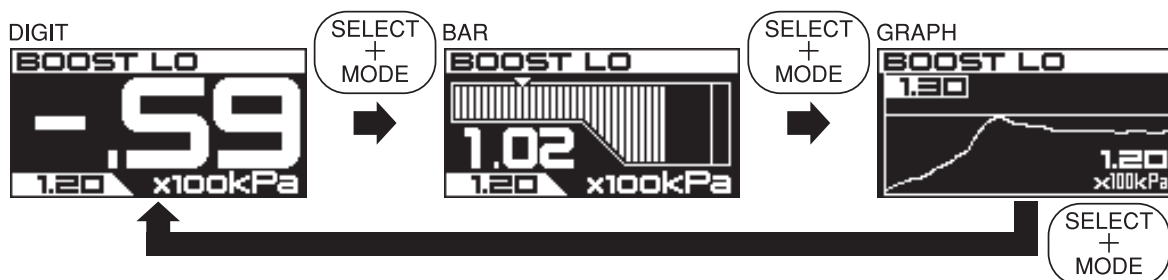
残りカウント数

ショートカット

◎本製品には、いくつかのショートカットコマンドがあり、これを利用する事で、製品をより有効に活用する事が出来ます。

★PATTERN 変更のショートカット

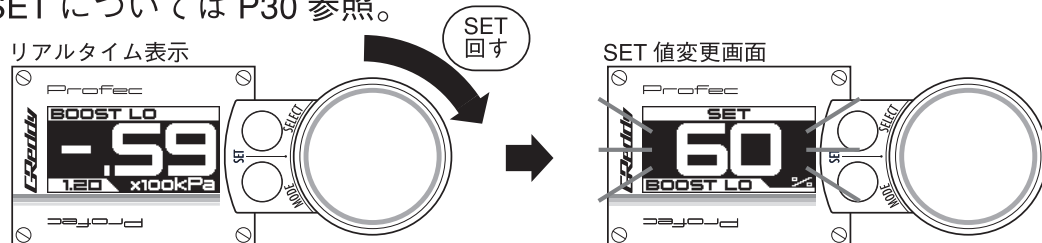
リアルタイム表示 OFF、LO、HI のいずれかの時に SELECT スイッチと MODE スイッチを同時押しすると、PATTERN を変更する事が出来ます。
※PATTERN については P22 参照。



★SET 値変更のショートカット

SET 値は、リアルタイム表示中に SET ダイヤルを回す事で変更ができ、SET ダイヤルを押すと確定し、リアルタイム表示に戻ることができます。
※変更中に MODE スイッチを押すと、変更はキャンセルされリアルタイム表示に戻ります。

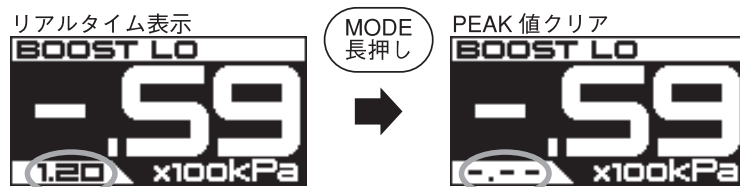
※SET については P30 参照。



★PEAK 値リセットのショートカット

PEAK 値は、リアルタイム表示中に MODE スイッチを長押ししてリセットする事が出来ます。

※PEAK については P33 参照。



トラブルシュート

ブーストが上がらない等、動作に異常がある場合、下記の「テストモード」、及び次ページ以降の「ブーストセッティングのコツ」「出荷時設定」「症状と対処方法」を参照し、各項目の確認を行ってください。

テストモード

◎テストモードでは、バルブの動作確認、画面表示の確認、リセット、バージョンの確認が出来ます。

■操作方法■

- ①リアルタイム表示 OFF から、SELECT スイッチ、MODE スイッチ、SET ダイアル 3つのスイッチ全てを同時に押すと、テストモードになります。
- ②テストモードにて、確認したい項目へ進んでください。MODE スイッチを押すと、リアルタイム表示 OFF に戻ります。



テストモードでは以下の項目の確認が出来ます。

■VALVE■

バルブユニットを強制的に駆動させる事が出来ます。0～100%でバルブユニットの動きを確認出来ます。MODE スイッチを押すとテストモード画面に戻ります。
※バルブユニットの動作確認は、エンジンを始動せずにキー ON で行ってください。



■DISPLAY■

ディスプレイの点灯確認が出来ます。SET ダイアルを回す事で全点灯、全消灯を切り替えられます。MODE スイッチを押すとテストモード画面に戻ります。

■RESET■

YES を選択すると、全ての設定をリセットし初期化する事が出来ます。リセットをすると再起動します。データロックの暗証番号を忘れてしまった時等に初期化する事が出来ます。
※リセットする前に設定値をメモしておく事をお勧めします。

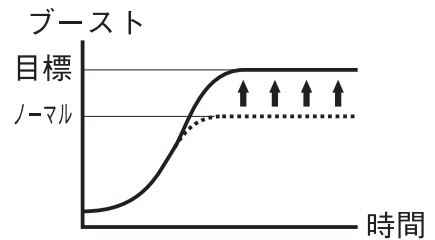


ブーストセッティングのコツ

◎ブーストセッティングをする際の、基本的な流れになります。

- ①ブースト表示を確認しながら、目標ブーストに近づくようにSET 値を少しずつ上げていきます。

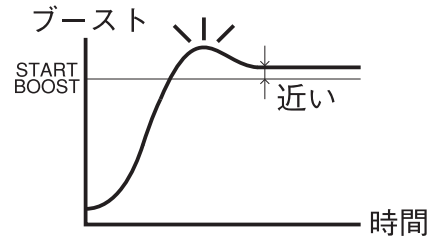
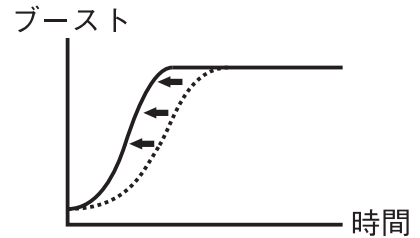
※LAST BOOST の設定を ON にしておいて、その時にかかっていたブーストを確認すると便利です。



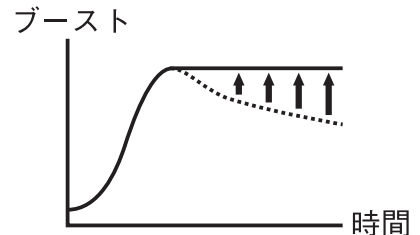
- ②目標ブーストまで上がるようになったら立ち上がりを START BOOST で調整します。

START BOOST に設定した値まで、目一杯ブーストを上げようとしています。(START TYPE を CONTROL にしている場合)

※START BOOST が目標ブーストと近づくと、オーバーシュートしてしまう可能性がございますので、START BOOST の上げ過ぎに注意しましょう。



- ③高回転でたれるブーストを上げたい場合、GAIN を少しずつ調整していきます。(車両やタービンの特性が原因の場合は改善できない場合があります。)



出荷時設定

ブーストモード・・・LO

セットアップ

PATTERN DIGIT
 DIRECTION LEFT
 BRIGHT 10
 UNIT kPa
 ALARM 1
 LAST BOOST ON
 START TYPE CONTROL
 DATE LOCK OFF

ブースト設定リスト

SET 0 (%)
 GAIN 0 (%)
 START BOOST 0 (×100kPa)
 PEAK 0 (×100kPa)
 WARNING 1.20 (×100kPa)
 LIMITER 0 (%)
 SCRAMBLE OFF

症状と対処方法

39 ページの「テストモード」を行っても、本体の動作に異常が見られない場合は、配管や設定に異常がある可能性が考えられます。下記を参照し確認を行ってください。

症状	考えられる原因	対処方法
1. ブーストが上がらない。 ブーストが上がり続ける。	・圧力を正しく認識していない。	・配管を確認して下さい。
	・バルブユニットの配線が外れている。 または接触不良をしている。	・バルブユニットの配線が外れていないか、損傷はないか確認して下さい。
	・バルブユニットに取り付けるニップルの位置を間違えている。 ・配管が逆になっている。 ・配管から圧が漏れている。 ・ホースが抜けている。	・バルブユニットに取り付けるニップルの位置、配管を確認して下さい。 ・アクチュエータータイプは①、ウエストゲートタイプは③にニップルを取り付けて下さい。
2. ブーストの立ち上がりが悪い。	・START TYPE が、NORMAL になっている。	・START TYPE を CONTROL にしてみてください。
	・START BOOST が、0 になっている。	・START BOOST を大きくして下さい。
3. オーバーシュートする。	・START BOOST が、大きすぎる。	・START BOOST を小さくして下さい。
4. 高回転でブーストがたれてしまう。 ブーストが上がっていつてしまう。	・GAIN の値が車両に合っていない。	・GAIN の値を調整して下さい。
	・タービンの容量不足や、アクチュエーターやウエストゲートの特性、排圧の上がり過ぎである。	・タービン、アクチュエーター、ウエストゲート等の、車両の仕様を変更して下さい。

アフターサービスについて

- 本製品について、何かご不明な点がございましたら、弊社までご連絡下さい。
- 付属されている保証書は、必要事項をご記入の上、大切に保管して下さい。
- Profec 本体の製造番号は、当社の厳密な検査に合格した物であることを証明します。
万一、ご購入年月日より1年以内に当社の責任と認められる故障を生じた場合は、保証書と合わせて製品をご提示下されば、無償修理を致します。
- 保証期間経過後の修理、また、お客様の不注意により修理が必要になった場合でも、お気軽に弊社までご連絡下さい。

株式会社トラスト 本社

〒289-1605 千葉県山武郡芝山町大台3115 番地5

T E L .0479 (77) 3000

TRUST

株式会社トラス ト 289-1605 千葉県山武郡芝山町大台3155-5 TEL.0479 (77) 3000

第1版 平成24年10月印刷

TRUST CO.,LTD

MADE IN JAPAN